



## CONTENTS

- ☆ 市政のここがききたい……………P 2～P 5
- ☆ 予算審査特別委員会から……………P 6～P 8
- ☆ 議会改革が始まります……………P 8
- ☆ 意見書を提出しました……………P 8
- ☆ 各常任委員会の審査から……………P 9
- ☆ 1月臨時会上程議案議決結果……………P 9
- ☆ 3月定例会上程議案等議決結果……………P 10

## 3月定例会

# 24年度予算など53議案を可決・承認・同意 議長に根本太左衛門議員・副議長に眞本丈夫議員を選出

平成24年3月定例会は、2月27日から3月22日までの25日間にわたり開催されました。本定例会には、平成24年度予算案12件、平成23年度一般会計補正予算案など議案38件、発議案3件が提出されました。

27日の初日は、諸般の報告・会期の決定の後、市長より提出議案等の提案理由説明がありました。また、補正予算等に関する議案12件について、先議の申し出がありました。

その後、高岡正剛議長、奥村雅昭副議長の辞職許可に伴う後任の選挙が行われ、議長に根本太左衛門議員、副議長に眞本丈夫議員が当選しました。

29日は、はじめに各委員

した。次に市長より先議の申し出があった補正予算案等12件を議題とし、3人の議員から質疑の後、委員会付託を省略し採決を行った結果、いずれも可決されました。次に条例改正案などに関する議案20件・陳情2件を議題とし、各常任委員会に審査を付託しました。

6日・7日の一般質問では、8人の議員が市政全般にわたり質問を行いました。9日・12日・13日は、予算審査特別委員会、14日・15日は、各常任委員会が開

かれ付託された議案等の審査が行われました。22日の最終日は、各委員長から付託された案件の審査結果が報告され、採決した結果、議案第1号から第12号・第24号から第38号・第40号から第44号までの32件、市長提出の追加議案6件、議員提出の追加議案3件については、いずれも原案のとおり可決、承認、同意、陳情第9号については不採択、陳情第10号は採択とし、全日程を終了しました。

## 可決された主な議案

**議案第24号 香取市暴力団排除条例の制定について**  
市民の平穏な生活と事業活動の健全な発展に寄与することを目的に、暴力団の排除に関する基本理念を定め、市・市民・事業者の責務を明らかにし、社会全体で暴力団排除を推進するものです。

**議案第32号 香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
本年3月31日をもって小見川地区の神里児童クラブを廃止し、4月1日から小見川西小学校敷地内に小見川西児童クラブを、佐原小学校第3校舎内に佐原第2児童クラブを設置するものです。

**議案第38号 香取市民プールの設置及び管理に関する条例の廃止について**  
東日本大震災により施設全体に甚大な被害を受けた市民プールを閉園するものです。

**議案第42号 佐原町並み交流館及び佐原三菱館の指定管理者の指定について**  
両施設を平成24年4月1日から3年間、指定管理者により運営するものです。

## 就任のごあいさつ



眞本 丈夫 副議長



根本太左衛門 議長

などにより本市を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、市の財政は、依然として厳しい状況が続いています。市民の皆様にもご負担をお願いしながら行財政改革を進めておりますが、解決しなければならぬ課題が山積しております。

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。このたび、私たちは3月定例会におきまして、本会議場での選挙の結果、第7代議長並びに第7代副議長に就任いたしました。

今後におきましても、香取市の限らない発展のために市議会一丸となつて努力してまいれる所存でございます。皆様におかれましては、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



水郷おみがわ桜つつじまつりで、よさこい鳴子踊りを披露（撮影：4月8日）

## 3月定例会の日程

2月27日(月)	本会議
29日(水)	本会議
3月6日(火)	本会議(一般質問4名)
7日(水)	本会議(一般質問4名)
9日(金)	予算審査特別委員会
12日(月)	予算審査特別委員会
13日(火)	予算審査特別委員会
14日(水)	総務企画常任委員会 福祉教育常任委員会
15日(木)	経済建設常任委員会
22日(木)	本会議

# 一般質問 市政のこころがききたい

一般質問は、市長などに市政全般に関する疑問点や方針などをたずねるものです。

3月定例会では、3月6日(火)・7日(水)にかけて、8人の議員が、一般質問を行いました。紙面では、その一部を要約して掲載しますが、詳細については、議会ホームページ・会議録をご覧ください。(10頁に閲覧についての説明があります。)

## 子ども医療費助成制度中学三年まで拡大

坂本洋子 議員

**問** 無料化の拡大は子育て世代の父母に朗報です。2000円の負担金導入は恒久化せず早急に完全無料化を求める。償還払いでなく現物支給の方向性は、子ども医療費の入院・通院に関する助成を

**答** 院1日につき2000円の自己負担をお願いするものです。また、現物給付に關して、県は本年12月から中学3年生までの入院を現物給付とすると予測され、通院は、引き続き、償還払いになると思います。

本年8月1日から中学校3年生まで拡大するため、8月診療分から通院1回、入

**放射能測定、市民要望あればいつでも出張測定が可能**



石納・野間谷原地区の災害水田復旧工事

**問** 近隣では銚子、成田、佐倉で貸し出しをしている。市民の不安を取り除くために測定器の貸し出しを。

**答** 県内では、14市町が行っており、近隣では、佐倉市、成田市、銚子市が行っていますが、貸し出し開始から1、2か月程度経過しても貸し出しの予約が、ほとんどない状況であると聞いています。また、今までは市民から測定の要望が8件あり、すべてを市の職員が測定を行っています。今後測定を要望に対して、精密なデータで市民の安心を確保したいと考えます。

**問** 県内では、14市町が行っており、近隣では、佐倉市、成田市、銚子市が行っていますが、貸し出し開始から1、2か月程度経過しても貸し出しの予約が、ほとんどない状況であると聞いています。また、今までは市民から測定の要望が8件あり、すべてを市の職員が測定を行っています。今後測定を要望に対して、精密なデータで市民の安心を確保したいと考えます。

**問** 完了するまでの作付は、県の仮設ポンプ設置支援事業を実施し、仮設ポンプにより対応することになりませんが、この仮設ポンプ設置に必要な経費も補助が受けられます。

**答** 国では、幼保一体化の解消や保育サービスの拡充を図るため、その関連法案を今国会に提出する予定であり、現時点では市として言及できる段階にはなく、その動向を注視しています。

**問** 子供達が良書と出会い本の世界を十分に味わうことは子どもの発達に必要不可欠です。国の学校図書充実予算の活用で小学校の読書環境を整備を。

**答** 国は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** ①復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**答** 復興交付金が不採択となったが今後の復旧事業はどのように進め、今年の作付けは可能か。②排水施設の工事完了はいつか。③反当り350000円の補償金はいつ農家に支払われるのか。

**問** 児童福祉法第24条の市町村の保育実施義務を削除する「こども・子育て新システム」で香取市の保育所はどのような体系になっていくのか。

**答** 国では、幼保一体化の解消や保育サービスの拡充を図るため、その関連法案を今国会に提出する予定であり、現時点では市として言及できる段階にはなく、その動向を注視しています。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 国の予算に盛り込まれた新規就農総合支援事業が農業後継者対策に有効に活用できるのか。

**答** 来年度から実施予定の国の青年就農給付金は、就農前の農業研修期間における生活保障及び就業後に安定した経営収入が得られない期間の経済的な支援を目的に給付金を給付する事業です。この事業の補助要件を満たすことができれば有効活用できると考えます。

**問** 大規模避難所の自家発電装置、非常食、飲料水、毛布など備品の保管は万全か。

**答** 避難所における防災用品の充実については、現在9か所に防災用品を備えた避難所が設置されており、新たに9か所の避難所に発電機、非常食、飲料水、毛布などの防災用品を配備します。

**問** 防災訓練の実施計画は。

**答** 平成24年度は、職員による訓練とあわせて市民の参加も要請し、計画的に訓練を行う計画です。また、発災時における自身の身の守り方や助け合いの考え方を理解、実践していただくため、各自主防災組織にこの取り組みの実践をお願いし、実施する際は市が全面的に協力したいと考えています。

**問** 市内公共施設で、50kwh以上の電力自由化対象となる施設数と年間使用電力量、電気料金は。

**答** 市の公共施設で、電力自由化の対象となる施設は、市役所本庁舎、各支所、上下水道施設、小中学校等の教育施設、道の駅など68施設あります。この68施設の年間使用電力量及び年間電気料金は、平成22年分が1621万1831kwhで、2億7908万1379円、平成23年分が1456万9884kwhで2億6353万807円となっています。

**問** 4月からの東電の料金値上げの影響は。

**答** 電力料金が値上げされた場合、市の主な施設として、市役所本庁舎の平成23年分の電気料金2601万5000円に対し、新料金での試算が2926万1000円で、324万6000円、12・5%の増となり、上下水道施設の浄化センター・玉造浄水場では、電気料金3384万1000円に対し、新料金が3963万5000円で579万4000円、17・1%の増となる見込みです。

**問** 電力自由化の流れから、他の自治体ではPPSとの競争入札によって経費の削減に取り組んでいるが香取市でも実施の考えはないか。

**答** 市では、電力料金の値上げ通知を受けて、その価格の比較のため2社へ見積り依頼したところ、1社は辞退、もう1社は、まだ提出がない状況であり、特定規模電気事業者から電力の供給を受けることは非常に厳しいと考えます。しかしながら、今後もPPSの供給能力や価格などを注視したいと思えます。

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

**問** 再生可能エネルギーの普及に力を入れるべき

**答** 最小の経費で最大の効果を目指すのが行

## 震災後の検証の上に立った防災体制は万全か

河野節子 議員

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**問** 地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。

**答** 香取市地域防災計画の見直しは、県の地域防災計画、マニュアルの見直しは、どの程度きめ細かく行われているか。



小見川西小学校に設置している太陽光パネル

政運営の基本。節電で浮いた電気代を太陽光発電の補助金に回して、再生可能エネルギーの普及に力を入れてはどうか。

**答** 市では、市民の新しいエネルギーの積極的な利用を支援するため、住宅

### 避難所運営の体験型訓練HUGの導入で防災対策を図れ

田代一男 議員

**問** 東日本大震災から間もなく1年が経とうとしていますが、地域防災計画の見直し作業の進捗状況は、どのようになっていますか。

**答** 現在、千葉県では被災自治体の意見を聞きながら、地域防災計画の見直しを行っていますので、それに合わせて香取市防災計画も見直したいと考えます。また、初期の対応マニュアルや各担当のマニュアルも防災時担当して

すが、新たに小見川4か所・山田3か所・栗源1か所・佐原1か所の計9か所に設置します。

**問** 東日本大震災以降、机上で行う避難所運営の体験型訓練「HUG」が注目されています。今後の防災訓練への導入を提案したいが、見解を伺います。

**答** 静岡県下田市が、昨年10月にマグニチュード8・0を想定し、避難所誘導ゲーム(HUG)による災害ボランティアコーディネート・養成講座を行ったようです。本市においても、今後の防災訓練を実施する際に、調査・検討したい。

**問** 今年度、買い物難民対策として試行している「宅配サービスシステム事業」を市民ニーズ把握のために継続すべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 現在、日本は高齢化の更なる進展により、成年後見制度の利用者が増加し、後見人不足が懸念される中、新たな担い手として、市民後見人への期待が

国の緊急雇用創出事業で実施している、移動販売・御用聞き・宅配事業については、本年3月で事業が終了しますが、本事業の実績報告書を分析・研究し、今後の買い物弱者対策へ役立てたいと考えています。

**問** 「市民後見人」の育成で成年後見制度の充実を図れ

**答** 認知症の高齢者などの財産や権利を守る成年後見制度を利用する人のニーズに対応するために、弁護士など専門職や親族による後見人だけでなく、「市民後見人」の育成が鍵を握ると言われるが、香取市の取り組みについて伺います。

**問** 現在、日本は高齢化の更なる進展により、成年後見制度の利用者が増加し、後見人不足が懸念される中、新たな担い手として、市民後見人への期待が



買い物弱者の支援(御用聞き・宅配サービスシステム試行事業)

### 合併特例債について

鈴木聖二 議員

高まっています。このようなことから、今後、市民後見人については、人材育成

の必要性を十分に認識して、対応したいと考えます。

**問** 平成24年度に予定されている主な合併特例債活用事業名と事業費、及び活用額は。

**答** 平成24年度当初予算における合併特例債の起債予定額は45億5660万円となり、その事業数は23事業を予定しています。主な事業では、新規に4事業として、街なみ環境整備事業、小見川市街地整備事業、伊地山可燃物処理施設整備事業、水生植物園の再生事業を予定しています。また、継続事業として19事業を予定しており、主なものは、学校給食センター統合整備事業、小見川市民センター整備事業、佐原小学校校舎耐震改修事業などです。

**問** 合併債を活用して小見川、山田、栗源の各消防署を改築し、耐震強化を図るべき。市の考えは。

**答** 現在、香取広域市町村圏事務組合において、消防計画を策定していますが、栗源分遣所が被災したため優先したいと聞いています。

**問** 佐原消防署改築事業費、及び合併債活用による市の財政負担軽減額はいくらか。

**答** 消防本部も含め佐原消防署建設工事の総

(仮称)まちおこしセンターは、平成24年度都市再生整備計画の交付金事業により基本設計を行い、その中で導入機能について検討します。また、観光客への情報発信強化や地域情報の共有化において、広く地域の祭礼行事などの紹介や展示は、望まれていると思います。合併特例債の活用については、この交付金の残額分において、適性を考慮しながら、進めたいと考えます。

**問** 小見川総合病院改築の検討資料の調査の結果は。病院改築には多額の費用が必要。合併債を活用するには、いつまでに改築を決定すれば可能か。

**答** 現在、小見川総合病院の調査事業の中で、病院の医療機能や市民ニーズの調査等を行っています。これらの結果により病院の方向性がある程度決められるのは次年度以降と考

**問** この法律により国の認定を受けると、合併債同様に国の財政支援を受けて町づくりを行うことができる。「香取市歴史的風致維持向上計画」の策定計画の有無、及び策定による市のメリットは何か。

**答** 東日本大震災により多くの被害を受けたので、今後数年の間は、伝建地区を中心に建物の被災や環境物件などの復旧に全力を挙げるため、歴史的風致維持向上計画の策定に入る時期ではないと考えています。なお、この計画の認定により重点区域を設定することになるので、事業の対象範囲が広がるというメリットはあります。



佐原消防署

### 住民自治協議会は、公民意識をもつ人々で地域を支える

小野勝正 議員

**問** 東日本大震災で学んだ顔の見える共同体を作る事が大事だ、トップダウンでは難しいのではないのか。

**答** 住民自治協議会の設立に向けた話し合いは、地域自らが地域づくりを取り組むことで、市民協働のまちづくりを推進する地域の新しい絆を結ぶ話し合いであり、市が設立を促すことではなく、地域の中で十分に協議された上で設立をするボトムアップ方式で進めていくことが重要と考えています。

**問** 公民的成熟を支援する仕事が必要であると思うがどのように考えているか。

**答** 地域の方がこの地域はこうありたいと望むことが、住民自治を担う市民協働の第一歩が始まると考えており、住民自治協議会制度の内容や地域の課題について十分話し合う時間を大切に、本当に必要性を感じたときに設立すべきと考えます。

**問** 地域により組織構成「特に街部」が難しいと思うがどう考えているのか。

**答** 佐原の新宿や本宿、小見川の中央地区において人口が多いことから、複数の協議会の立ち上げも視野に入れて検討する

ことも必要ではないかと考えています。

**問** デマンド交通の実証運行を考えているのか。

**答** 病院、買い物に限ってでも実証運行に踏み切るべきではないか。

**答** 今年もデマンド交通導入について、他市を視察するなど研究を進めています。デマンド交通は、ドアトゥドアの輸送が可能であり、交通不便地域などに対しては有効な手段とは認識していますが、利用目的を限った運行は困難と考えています。

**問** 一番困っているところには手を差し伸べるべきであり、教習所とのタイアップで援助を考えたかどうか。

**答** 自動車教習所は、佐原と小見川に2か所ありますが、教習生徒の送迎用として、生徒達の要望により運行しており、これを利用して地域住民の要望を満たすことは難しいと考えています。

**問** 市は若者の就職活動にもっと力を入れるべきか。

**答** 年収200万円以下の人は、何人いるか。平成23年度の税情報をもとにした統計数値では、約2400人となっています。平成23年1月1

日現在の20歳代の人口は8041人であり、給与収入が200万円以下の割合は約3割となっています。

**問** 市内に高校を卒業して就職できなかった人は、何人いるか。

また、その方々のサポートは、どうしているか。

**答** ハローワーク佐原の資料では、平成23年12月末現在で、管内の新規高校卒業者のうち就職希望者249人に対し、就職内定者は162人です。また、就職活動中の若者に対して、ハローワークやジョブカフェちば等の関係団体と連携して求職者のスキルアップを目的にセミナーを行っています。これらを周知したいと考えています。

**問** 成年後見制度は判断可能な時にこそ、使える制度にするべきではないか。

**答** 市では地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、佐原、小見川地域にそれぞれ地域包括支援センターを設置し、介護や健康のことや成年後見制度などに関する相談に対応し、その内容により必要な情報やサービス提供を行うとともに、関係機関とも連携し適切な支援を行っています。

**問** 城山公園の遊具の管理は適正に行われているのか。

**答** 城山公園忠霊塔下の遊具について、平成22年10月にメーカーの点検を受けた際、すべり台のコンクリート基礎などに異常が発見され、直ちに使用禁止の措置を講じました。その後、東日本大震災による復旧工事の関係から発注が1年以上遅れました。この間に子供たちが危険なすべり台を使用した可能性があるという指摘がありました。今後は、十分な対策を講じるとともに、職員による見回

### 栗源分遣所・栗源公民館の早期整備を望む

宇井正一 議員

**問** 消防署栗源分遣所は、栗源地域の安全・安心のため早期整備が必要だ。また、栗源公民館は市民が利用しやすく、ホールを含め早期に整備できないか。

**答** 消防署栗源分遣所は、修し、住民が利用できるようにしたいと考えています。大震災を受けて、地域防災計画を見直す必要がある。現在の職員数で支所を含めて災害対策の



現在、休館中の栗源公民館

**問** 消防署栗源分遣所は、被災したため、現在、栗源支所に仮分遣所を設置して、従前どおりの消火・救急活動をしています。今後は、現在の栗源給食センターを改築し、栗源分遣所として活用する方向で香取広域市町村圏事務組合において調整しています。また、栗源公民館も震災被害により使用できませんので、現在、栗源支所の旧議場を防音装置が設置されたホールに改

**答** 消防署栗源分遣所は、被災したため、現在、栗源支所に仮分遣所を設置して、従前どおりの消火・救急活動をしています。今後は、現在の栗源給食センターを改築し、栗源分遣所として活用する方向で香取広域市町村圏事務組合において調整しています。また、栗源公民館も震災被害により使用できませんので、現在、栗源支所の旧議場を防音装置が設置されたホールに改

**問** 配備は可能か。避難所における、現場管理者など運営体制はどのようになっていくのか。

**答** 安全を第一に考え、全体の被害状況などの把握に努め、支所においては管内の被害状況を本部に報告します。本部は、その報告を受け、被害に応じた職員を配置します。また、避難所の受け入れや運営方法については、避難施設ごとに担当者を定めています。一部

その運営の具体的なマニュアル等が未整備であることから、今回の震災での教訓を踏まえ、現実に即したマニュアルを作成したいと考えています。

**問** 老人福祉センターは市民の要望を入れ早期の完成を望む。

**答** 老人福祉センターの改築は、どのような機能を持った施設になるのか。完成までのスケジュールは、合併特例債を使用し早期に完成させるべきです。

**問** 老人福祉センターが廃止となった場合、香取市が単独で(仮称)生きがい交流館を整備する計画です。その施設整備は、合併特例債を活用して牧野の森全体の整備計画と歩調を合わせ、次年度の整備基本計画策定の中で関係部門と連携、協議し一体的に検討する予定です。また、施設機能は、広く市民の意見を聞きながら多くの市民が利用できる施設とします。

**問** 乗り合いタクシーは、市民みんなが利用できる公共交通として一刻も早い導入が求められています。取り組み状況は。

**答** 市は、循環バスを運行して交通不便地域の解消に努めています。居住地域が広範囲に存在することから需要が分散し、すべてを解消できない状況です。循環バス運行に当たっては、路線の見直しや停留所に増設など、常時利便向上に努めています。一部

地域では利用が進んでいません。このことから、循環バスのさらなる利便性の向上に加えて、新たな運行形態のデマンド交通についても視野に入れ、研究を進めたい。

**問** 県道佐原榑海線の2車線化を急いで

**答** 県道佐原榑海線は、山田と佐原を結ぶ主要道路。旧市町の一体化のために、千葉県へ一刻も早い事業採択を求めています。

**問** 県では、新規事業として拡幅整備事業を実施することは、難しい状況であるとのことですが、本年度の動きとして、本路線と県道成田小見川鹿島港線の改良を含む県道の歩道整備が平成23年度地域自主戦略交付金事業で採択され、測量・設計を行っています。この事業については、この県道佐原榑海線整備における第一歩でもあり、更なる整備の促進を要望したいと思えます。

**問** 原子力発電に変る自然再生可能エネルギーの取り組みが求められています。水郷の都市として、小水力発電に力を入れては。

**答** 農業用水を活用した小水力発電の施設が全国で20数か所あり、今後、この事業を実施した場合の費用対効果や法律関係を含めて、検証したいと思えます。

一部



城山公園に新たに設置されたすべり台

# 改革は負の部分の部分を改め良くすることが大前提

小林康良 議員

**問** ①投票区の見直し計画があるが、合理的な説明がない。本来の選挙管理委員会の使命は公正な選挙、投票率向上ではないか。②実施により投票率低下の恐れはないか。③住民への説明会の周知、意見の集約はどのようにされるのか。④「経費の節減」との事だが、高いと言われる人件費、委託料の単価を削減することは可能か。

**答** ①選挙管理委員会では、行財政改革や国の事業仕分けによる選挙経費の2割削減などが求められる中、職員や経費の削減などを含め、総合的な見地から投票区の再編を検討した結果、投票区は小学校の学区単位が最も適当であると判断し、今回の見直し案になったとのこと。②投票率の向上対策では、通年の取り組みとして、明るい選挙啓発ポスター展や成人式、各地区のふるさとまつりで啓発活動を行っています。選挙時は、啓発誌の回覧をはじめ広報紙、市ホームページなどで周知、啓発活動を行っています。③選挙管理委員会では、既に2月から37か所の自治会を対象に、自治会の総会等に伺い順次説明会を行っています。また、その際、地区住民から頂いた意見などで有効なものを取り入れていくとのこと。④前回の市長選挙と市議会議員選挙の執行経費は、市長選挙が約3000万円、市議会議員選挙が約5400万円でした。投票区が仮に10か所減った場合、市長選挙で約310万円、市議会選挙で430万円の削減が可能となります。人件費については、各投票所に最低でも、管理者1名、立会人2名、事務従事者5名の人員が必要で、

## 中学校の武道の必修化授業について

**問** 文科省の指導要領については「ゆとり教育」をはじめ疑問符がつく。そして、「武道の必修化」、武道は、奥の深いもので中途半端な教育になってしま

わないか心配である。①狙いは何か。②指導体制や設備、目指す習熟度や安全性の確保は整っているのか。③後遺症が発生した場合、武道との関連性の立証において対応はされるのか。

**答** ①武道の必修化は、その運動の特性や武道の学習を通して礼に代表される伝統的な考え方を理解し、伝統的な行動の仕方を学び、より一層我が国固有の伝統と文化に触れることを目的としています。②各中学校とも有段者や指導経験のある教員が中心に専門性を生かした指導を行っています。指導経験がない教員は、研修会への参加等により指導技術の向上を図ります。また、目指す習熟度は、生徒の実態等に応じて到達目標を設定し、その指導は学習段階や個人差を踏まえ、安全の確保に十分留意するよう指導します。③学校でのさまざまな事故



佐原中学校剣道部の練習

## 宇井市長の政治姿勢について

高木 寛 議員

**問** 市長就任から現在までの主な施策とその成果は。

**答** 私は市長就任以来、市民の声をできる限り市政に反映すべく、これを念頭に新市の一体感の醸成による市域全体の均衡ある発展などに積極的に取り組まれました。この間、住民ニーズの対応や国・県の施策活用など、その時々情勢に柔軟に反応して対応し、行財政改革による財政の健全化を図りながら市政運営に努めました。このような中、東日本大震災による災害の応急的な対応などに市民の皆様とともに不断の努力を注ぎ、傾注してきました。現在も災害からの本格的な復興に全力で努めており、その成果としては、まだまだ不十分であります。国の施策、支援策などの充実が図られつつあります。

**問** 耕思文庫(農業図書等)は有効利用されているのか

**答** 旧山田町に寄贈された約2700冊の図書について過去に「香取市」としてもっと利用してもら

うため設置場所等も検討する」との議会答弁があり、市民に約束しているが改善されていないとの声があるが現況は。

**答** 現在、耕思文庫は佐原中央図書館と山田農業構造改善センターの2か所に設置していますが、今後は、図書館のホームページに文庫図書のデータを掲載し、インターネットで広く市民が利用できる環境を整えたいと考えます。

**問** 今後の市政運営に対する取り組みは。

**答** 今後の市政運営の方針では、災害からの復旧、復興を第一義として、既に取り組み始めている復興事業など、着実に進めたいと考えています。そして復興のみならず、香取市の将来を見据えたまちづくりに関する次のステップに向けて、後期基本計画を初めとした新たな計画づくりを進めたいと思っております。本年は、市民協働による、支え合いそして助け合い、この力で次代へ向けた礎となる復興元年と位置づけ、全力で取り組めます。

**問** 香取市における重要行政課題への取り組みは

**答** 東日本大震災被災者に対する香取市の新たな支援策の内容は、また、これにより香取市

の支援策の合計額は。東日本大震災住宅見舞金は、香取市災害復興計画に掲げる住宅再建、生活再建の支援の一環として創設をしたもので、その内容は、被害状況に応じ、全壊で10万円、大規模半壊7万円、半壊5万円、一部損壊1万円を支給します。支給額の合計は、平成24年度までに3億5340万円を予定しています。

**問** 国、県、市の支援額及び義援金等を含めた被災者に対する合計支援金額は。

**答** 全壊世帯の場合、国の被災者生活再建支援金、県の災害義援金、香取市災害見舞金を合わせると、最高額で435万円となります。

**問** 山田地区おおくすニュータウンは、旧山田町が分譲したものであるが、その液状化被災者に対する支援策は。

**答** 小見川産業用地について公募した結果、2社の応募があり、この2社について審査会の審査を受けています。

**問** 液状化被害が発生した地域を対象に地質調査をして、再液状化の軽減や防止の事業計画を検討したいと考えています。この事業などにより、今後、同じような状況が起こらないようにすることが、市ができる支援と考えます。

**問** 国保小見川総合病院の今後のあり方に対する香取市の見解は。

**答** 香取市東庄町病院組合として構成市町である東庄町と本市で、小見川総合病院のあり方の検討を立ち上げ、現在検討を重ねています。この検討が終われば、次にこの資料に基づいて方向性が検討されると考えます。

**問** 旧ソニー小見川テック跡地に関する企業誘致の現状は。

**答** 小見川産業用地について公募した結果、2社の応募があり、この2社について審査会の審査を受けています。

**問** 平成25年度にスポーツ振興課を廃止する理由は何か。

**答** スポーツ振興課は、平成25年度に生涯学習課と統合する予定で、生涯学習課内にスポーツ振興を担当する班として設置し、これまでどおりスポーツの振興を図ります。

受けました。現在、この審査の結果を受け、市としての結論を出すべく検討しています。

**問** 郷土の偉人「伊能忠敬のNHK大河ドラマ化推進運動」に対する香取市の対応は。

**答** NHK大河ドラマ推進協議会に対して、啓発に関する経費として200万円を予算要求しています。

**問** 生涯学習及び機構改革の推進について

**問** 今後、各地区に於ける生涯学習の講座や教室への対応は。

**答** 各施設で開催している講座や教室については、参加状況や要望等を踏まえながら、今後も内容の充実に向けた取り組みが、基本的な教室・講座のあり方として、一定の年数を経過して学習された後は、自主活動として活動できるように支援したいと考えています。

**問** 平成25年度にスポーツ振興課を廃止する理由は何か。

**答** スポーツ振興課は、平成25年度に生涯学習課と統合する予定で、生涯学習課内にスポーツ振興を担当する班として設置し、これまでどおりスポーツの振興を図ります。



小見川総合病院



# 予算審査特別委員会から

2月29日(水)の本会議で、予算審査特別委員会へ付託された新年度予算に関する案件の審査を3月9日(金)・12日(月)・13日(火)の3日間にわたり行いました。ここでは、委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

## 予算審査特別委員会

委員長	奥村 雅昭
副委員長	宇野 功
委員	小野 勝正
委員	小林 康良
委員	林 信行
委員	柳田 俊秀
委員	河野 節子
委員	宇井 正一

## 総務部関連の事項

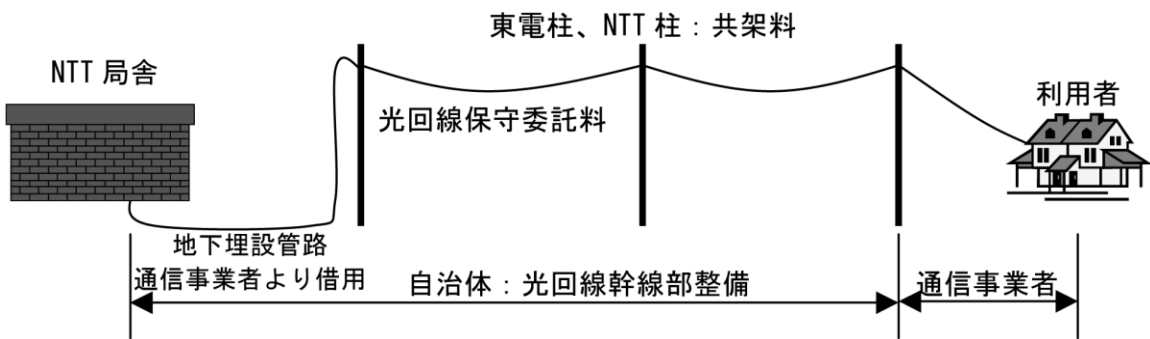
**問** 光回線管理費に関して、当初の計画では年間維持管理費5千万円と説明していたが、2千8百万円となった理由は。

**答** 当初予定していた光回線整備延長約500kmが271kmに変更され、光回線に乗せた電柱が大幅に減ったため、減額となりました。

**問** 特定財源すべてがその他になつており、利用者の負担だけでまかなえるという解釈でよいか。

**答** 歳入は、すべて光回線の利用者のIRU(※1)の料金でまかなう予定です。

(※1) IRUとは、市が保有する光ファイバー等について関係当事者の合意がなければ、破棄または終了ができない回線使用権のことです。



**意見** 加入者が増えれば円滑にいくということですので加入率のアップに努められたい。

**問** 防災会議委員報酬に關し、この防災会議には女性の委員は入られているか。

**答** 平成24年度に見直しを予定している地域防災計画の会議であり、この中に女性の委員は入っていません。

**問** 女性の視点から見た防災計画が大事と思うが是非ともそういう方向でやっていたらいい。

**答** 女性の登用については、今後協議、検討していきたい。

**問** 市職員定員適正化計画に關して、全体を通して市職員数は28人減員になるとの説明があったが、住民サービスの低下に直結する点の影響はないのか。

**答** 年度末で退職等46人、採用16人、30人の減です。不足する部所等には臨時職員での対応、業務を民間等に委託をしていく等が考えられます。最終的に適正配置ということを考えて30人の減に対応していきたい。また、平成23年4月1日現在、香取市と県内35市の平均と比較し、1000人当たり1人、職員数が多いような状況にあり、市職員定員適正化計画に基づき、

職員数の適正化に努めていきたい。

**意見** 香取市は県下4番目の広大な面積を持つことから職員数の減については、住民サービスの低下、支所機能のあり方、防災体制のあり方を汲み、総合的な観点から職員数を見ながら、職員の削減は、極力抑える方向で進めるべきである。

## 企画財政部関連の事項

**問** 子育て創生事業に關し、平成23年度は指定交付金を受けて1350万円という大きな予算の事業であったが、婚活事業の会員数は。

**答** 3月1日現在の会員数は367人、女性会員の内の方が62人、市外の方が117人、合計179人です。男性は市内の方が148人、市外の方が40人、合計188人です。

**問** 平成23年度は震災の關係でスタートが遅れましたが、9月25日から3月18日までに計13回のイベントを実施しました。その内容は、地域性を考慮し、小見川ではレガッタ、栗原では陶芸、山田ではいちご狩り、佐原ではサンセットクルージングなどを実施しました。これまでの参加状況は女性が193人、男性が225人、合計418人です。

**問** 平成24年度の事業の進め方は。

平成24年度の事業の進め方は。



香取市婚活事業啓発ポスター

**答** 担税力があつたが、婚活事業の会員数は。

**問** 来年度からは市単独事業で実施し、会員同士の出会いの場の提供等を考えています。

**問** 不動産売却収入に關し、市有土地売却収入と不動産鑑定委託料の内容は。

**答** 年間を通じての所要額を毎年、同額程度を計上しているものであり、現状では1か所の売却の話が進んでいます。

**問** 滞納処分費に關し、71万6千円の内容は。

滞納処分費に關し、71万6千円の内容は。

## 市民環境部関連の事項

**問** 市民協働まちづくり活動事業に關し、事業費1284万円のうち、特定財源のその他714万6千円の財源は。

**答** 地域振興基金の利子です。

**問** 住民自治協議会の今後の見通しは。

**答** 現時点では佐原2か所、小見川1か所の3か所で新年度の設立に向けた協議が進められています。

**問** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。

**答** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。

**問** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。

**答** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。

**問** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。

**答** 協議会の設立は、現在の小学校学区単位で進めていくという認識でよいか。



北佐原まちづくり協議会設立総会

**問** 地球温暖化対策実行計画策定委託料に關し、委託料223万5千円の内容は。

**答** 香取市が改正省エネルギー法により特定事業者の指定を受けて年1%以上を削減目標とする義務を負っています。この計画は、市全体の計画ではなく、香取市が事業者として市の建物において、温室効果ガスの総排出量を削減す

大きな小学校区では、その運営が難しいと思われるため、現在、様々な形で説明会を開催しています。今後も、地域の中で十分に合意を図って進めていきたい。

**問** 地球温暖化対策実行計画策定委託料に關し、委託料223万5千円の内容は。

**答** 香取市が改正省エネルギー法により特定事業者の指定を受けて年1%以上を削減目標とする義務を負っています。この計画は、市全体の計画ではなく、香取市が事業者として市の建物において、温室効果ガスの総排出量を削減す

る目標を立てる計画であり、平成20年度から平成24年度までの5か年間の計画を今回、見直しをするための委託料です。

**問** 生活環境整備事業に  
関し、事業費536万7千円のうち、平成24年度は50基、400万円の助成で住宅用太陽光発電システム設置補助金を計上して1基当たり8万円の助成額となっているが、財源内訳は。また、希望者が多くなった場合の助成金の確保策は。

**答** 県の住宅用太陽光発電設備導入助成事業補助金は350万円、残る50万円は一般財源です。申請者が多くなった場合は、平成24年度の県の補助枠が決まった段階で、それに併せて申請者数を見ながら補正措置をしていきたい。

**健康福祉部関連の事項**

**問** 生活保護費が2年連続して1億円以上増額しているがその要因はどこにあるのか。

**答** 平成24年3月1日現在の生活保護の受給世帯数は、485世帯、受給者は584人です。前年度との比較では、19世帯、9人の増となっています。生活保護費増加の主な要因は、医療扶助費の増加であると考えています。生活保護費の前年度増加額は1億775万3千円で、この内、医療扶助費は7533万3千円となっており、増額

分の70%を占める状況です。**問** 平成23年度に不正な受給はあったか、また、生活保護者で自立できなかった世帯はあるか。

**答** 平成23年度に1件の不正受給があり保護を廃止しました。また、9世帯、12名が自立により保護を廃止しました。

**意見** 保護者が自立することとが大事であるので、引き続き努力されたい。

**問** これまでの老人福祉センターの運営形態と今後の生きがい交流館について、市はどのように運営していくのか。

**答** これまで老人福祉センターの運営は、香取広域市町村圏事務組合が

行っていました。今後の生きがい交流館については、高齢者だけではなく広く市民が利用できるような施設として、今後の基本計画策定の中で、市民の意見を聞きながらその方向性を決めていきたい。

**問** これまでは、利用者のために送迎バスが運営されていたが、今後はどうなるのか。

**答** 生きがい交流館への利用者の交通手段については、市民の意見を伺いながら、基本計画策定の中で方向性を決めていきたい。

**要望** 高齢化社会になり、送迎バスなどは大変重要であるので、市民が利



初歩からはじまる軽体操教室（山田公民館）

用しやすいように便宜を図られた。**問** 子ども手当支給事業の減額内容は、どのようなものか。

**答** 平成23年度の子ども手当支給は、0歳から小学3年生まで1万3千円を支給していたが、その後、同年10月の特別措置法により0歳から3歳未満が1万5千円、3歳から小学生の第1子・第2子が1万円、第3子が1万5千円、中学生が1万円となる支給額の変更があり、平成24年度も同額であることから、3億3千万円の減額となったものです。

**問** 本市の敬老祝金の支給の現状と敬老祝い事業の内容はどのようなものか。

**答** 敬老祝金として、100歳を超えた方に3万円を支給しており、来年度は24人を見込んでいます。また、結婚の夫婦に夫婦茶碗、80歳・100歳に到達した方に記念写真などを贈っています。各地域の敬老祝事業については、地域ごとに特色のある事業を行っています。

**問** 地域活動支援センター運営費補助金の内容はどのようなものか。

**答** 千葉県聴覚障害者協会が聴覚障害者を対象とする地域活動支援センターを4月から佐原駅北口に開設するにあたり、その運営費を補助するものです。その事業内容は、聴覚障害者に生きがいづくりの場を

提供し、相互の交流を深め、生活の質を高めるための支援を行うものです。

**教育部関連の事項**

**問** 旧学校施設等管理費の内容と今後はどのようなものか。

**答** 本件は、旧佐原第2中学校及び旧沢小学校の校舎・体育館・グラウンドの維持管理費等で現状の活用状況は、両施設の体育館は市民に開放しており、旧佐原第2中学校のグラウンドは、東日本大震災の被災者仮設住宅用地として利用されています。また、校舎については、旧佐原第2中学校の校舎は老朽化により使用できませんが、旧沢小学校の校舎は、沢小ワークショップが開催され、今後の活用等について検討されています。

**問** 今後の学校統廃合により廃校となった施設の活用については、どのように考えるのか。

**答** 学校の統廃合により廃校となった施設については、まず、その学区の方々の意向を伺い、その後、市の公有財産検討委員会において、今後の方向性を決定したい。

**問** 小学校再編計画の進捗状況はどうなっているか。

**答** 学校再編実施プランについては、先の東日本大震災による学校施設の災害復旧を優先したことから、平成23年度の11月か



東日本大震災の被災者仮設住宅として活用されている旧佐原第二中学校校庭

**経済部関連の事項**  
**問** 土地改良事業の内、経営体育成基盤整備事業府馬地区の進捗状況は。

**答** 全体面積162.7ヘクタール中、126.6ヘクタールで77.8%の面整備が終了し、また、パイプライン・暗渠などを含めた事業費ベースでは、27.9%の整備状況にある。府馬工区において農地利用集積を推進すると、受益者負担が軽減されるため、その点についても努力願いたい。

**要望** 水郷おみがわふるさとまつり運営委員会事業補助金について、佐原、山田、栗源と同様に、農業振興事業の香取のふるさとまつり事業補助金として計上すべきではないか。

**答** 各地域の特色を活かしたイベント開催が望ましいことから、実行委員会できり、小見川地区においても、農協や商店会等の事業への関わり合いからこのようになったので、ご理解願いたい。

**問** 観光振興対策事業の整備・育成・保存を図るとなっているが、具体的な内容は。

**答** 緊急雇用創出事業交付金を活用し、香取市全域の産業・観光・地域文化・四季・食・名産品を紹介する観光PR用DVDソフトの作成や、本市の産業・観光をPRする、5分間程度の番組を作成し、イ

**問** 小学校再編計画の進捗状況はどうなっているか。

**答** 学校再編実施プランについては、先の東日本大震災による学校施設の災害復旧を優先したことから、平成23年度の11月か

ンターネットとラジオを活用したプロモーションを行います。



おみがわYOSAKOIふるさとまつり

建設部関連の事項

問 都市計画費の内、公園維持管理費が、438万円ほど減額になっているが、その理由は、

答 小見川城山公園の管理については、桜の名所整備事業への振替を行い、臨時職員を雇い管理を行うものであり、事業内容そのものの変更はない。

問 市の最南部から山田地域の中心部を結ぶ、市道I-57号線道路改良事業について、4482万6千円の減額理由と、現在の状況として問題点は、

答 平成23年度は、昨年の震災のため、用地買収と一部の工事だけを行ったが、次年度は、小川地区の現道部分の道路改良を行う。また、減額の理由は、新里・桐谷間の用地買収が困難であったので、仮設道路を設置し、水路横断部分を先行して、工事を実施する予定であったが、平成23年度内に用地関係が解決したので、今後、道路整備に合わせて水路工事を実施している。次に、問題点としては、用地買収率は89%であるが、不在地主との間で土地価格について折り合

われない点がある。区長をはじめ、地元

の協力を得ながら、速やかに整備を進められた

問 佐原市街地整備事業の4億9782万8千円はどのように使われるのか。

答 都市再生整備計画に基づき、主なものとして、佐原駅前広場用地、約3630㎡の取得費に2億3232万円、建物移転補償費に2億円、営業補償費に5000万円、補償のための調査委託費に1130万円を計上している。



佐原市街地整備事業が実施されるJR佐原駅前

上下水道部関連の事項

問 水道事業会計の建設改良費12億9515万2千円に、昨年の震災で問題となった、耐震性貯水槽や水道施設の自家発電設備は含まれているのか。

答 側高ポンプ場の自家発電設備8610万円を計上しているが、玉造浄水場については平成25年

度の水道計画見直し時に検討する。また、耐震性貯水槽については、防災担当課で、復興交付金を活用するための事前打ち合わせ中であり、この改良費には該当していない。

意見 震災に係わった、各種の国庫補助制度等を活用し、有利な事業推進を図りたい。



今後、自家発電設備が設置される側高ポンプ場

議会改革が始まります

3月22日(木)の本会議で、議会改革検討特別委員会が全員賛成により設置されました。今後は、この特別委員会の中で、議会改革全般に関して協議・検討が行われ、議会改革が推進されます。

議会改革検討特別委員会

- 委員長 伊藤友則
副委員長 堀越博
委員 奥村雅昭
委員 伊能敏雄
委員 高岡正剛
委員 坂本洋子
委員 林幸安
委員 河野節子

意見書を提出しました

陳情第10号

利根川の管理を国の責任で行うことを求める陳情

陳情者

国土交通労働組合佐原分会 分会長 米堀 正和

要旨

野田首相は、国の二重行政を解消するべく「国の出先機関の原則廃止の法案を提出する。」としており、国土交通省関東地方整備局並びに事務所・出張所の廃止が現実のものとなっている。水郷香取地域は、利根川の最下流部に位置し、ひとたび水害となれば、その被害は甚大であり、多くの沿川住民の生命・財産が危うくなり、一

自治体で防災できるものではない。東日本大震災では利根川下流部の堤防に200か所に及ぶ災害が発生しており、このような中で国の機関を廃止することは、国の防災責任を放棄するものであり、沿川住民の安全・安心を脅かすものがある。原発による環境破壊、産業廃棄物・一般廃棄物の水質汚染が心配されるが、飲料水・農業用水・工業用水等、流域住民の安全な水の確保は国の責務である。

※市議会では、陳情第10号を経済建設常任委員会に付託して審査し、本会議において採決した結果、採択となりました。その後、議員発議により発議案第1号として国の関係機関に意見書を提出することについて採決した結果、賛成多数により可決され、意見書を国の関係機関に提出しました。

【提出先】 内閣総理大臣・総務大臣・国土交通大臣



# 各常任委員会の審査から

2月29日(水)の本会議で各常任委員会に付託された案件の審査を3月14日(水)・15日(木)の2日間にわたり行いました。

ここでは、各委員会の審査内容を質疑と答弁などに要約して掲載します。

## 総務企画常任委員会

**問** 議案第24号 香取市暴力団排除条例の制定について、市民等に対する取り組みの体制は。

**答** 市として、暴力団排除の意識の醸成を図る理念条例であり、9月施行までに暴力団の排除措置及び支援を講ずるための連

**問** 議案第25号 香取市行政組織の一部を改正する条例の制定について、組織改変による住民サービスの低下を危惧するが影響はないか。

**答** 香取市機構改革基本方針に基づき、その時々の社会的要因や職員適正化計画を加味し、引き続き組織の見直しを行っていきたい。

**問** 携に関する協定を香取警察署と締結する予定です。

**問** 議案第25号 香取市行政組織の一部を改正する条例の制定について、組織改変による住民サービスの低下を危惧するが影響はないか。

**答** 香取市機構改革基本方針に基づき、その時々の社会的要因や職員適正化計画を加味し、引き続き組織の見直しを行っていきたい。



4月から統合された税務課(本庁1階)

## 福祉教育常任委員会

**問** 議案第32号 香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、保育所を卒園してから放課後児童クラブへ入所している実態はあるのか。

**答** 保育所同様、児童クラブも保護者が昼間不在で、家庭での保育を受けることができないことが入所要件であるので、ほとんどの児童が入所していると思われま

**要望** 全国的に見ても充足していない状況であり、香取市としても放課後児童クラブを計画的に設置



震災被害により閉園となった市民プール

**問** 議案第38号 市民プールの設置及び管理に關する条例を廃止する条例の制定について、市民プール廃止に伴い、これまでの市外利用者への周知はどのようになっているのか。

**答** 市民プールの廃止について市のホームページに掲載して周知しています。

**意見** 部・課の組織改変は住民サービスの低下につながるよう十分に注意されたい。

**意見** 市外利用者へ周知するため、近隣市町の役所等へ廃止を知らせることも必要である。

**要望** 市民プール廃止に伴い、市内に3か所ある海洋センターのプールについて、今後、市民が自由に利用できるような体制づくりを求め

**問** 陳情第9号 保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情について、これまでに同様の陳情があったか。

**答** 陳情第9号 保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情について、これまでに同様の陳情があったか。

**答** 本件と同様な陳情が、平成19年12月定例会に提出され採決の結果不採択となっています。

**意見** 本陳情に賛成する立場から、健康の入口である歯や口の中の健康は、全身の健康増進につながるものであり、保険でより良い歯科医療を受けることは、国民のニーズであると思

**問** 議案第35号 山田農業構造改善センターの条例改正について、この施設の利用状況は。

**答** 平成22年度は、52件、延べ2万8836人、平成23年度は、1月末までで、510件、延べ3万7743人の利用者があります。

**問** 議案第43号 市道路線の認定・廃止について、市道認定となる基準はあるのか、また、地元から申請すれば認定されるのか。

**答** 市の基準があり、主な内容は、集落と集落、市道と市道とを結ぶ道路

**意見** 今回の12月定例会に於いて、同じ方から提出された、利根川下流河川事務所存続の請願は不採択となったが、今回の陳情は、穏やかな文言に調整され、河川事務所の統廃合については別としても、利根川の治水は国の責任でという趣旨には賛成したい。

**問** 議案第42号 佐原町並み交流館・三菱館の指定管理者について、現在、三菱館が工事中であるが、その内容は。

**答** 外壁の修理を行って、耐震工事等については、以前より検討しているが、数千円を越える多額の費用を要し、有効な補助金等もないため、現在検討中です。

**要望** この施設の駐車場は身障者用としているが、観光客が誤って駐車した場合、施設管理者から強い口調で注意を受ける時がある。その点に留意し、指導願いたい。

**問** 議案第43号 市道路線の認定・廃止について、市道認定となる基準はあるのか、また、地元から申請すれば認定されるのか。

**答** 市の基準があり、主な内容は、集落と集落、市道と市道とを結ぶ道路

**問** 今回の震災に対して、国の対応はどうであったか。

**答** 震災からいち早く、国土交通省の緊急災害対策派遣隊の技術者チームが派遣され、災害の現状調査、河川の査定に向けた設計を実施して頂き、それが復旧へ大いに役立ちました。

**意見** 今回の12月定例会に於いて、同じ方から提出された、利根川下流河川事務所存続の請願は不採択となったが、今回の陳情は、穏やかな文言に調整され、河川事務所の統廃合については別としても、利根川の治水は国の責任でという趣旨には賛成したい。



引き続き指定管理者により運営される佐原町並み交流館・佐原三菱館

## 1月臨時会 上程議案議決結果

(開催日 平成24年1月25日)

議案番号	件名	結果
議案第1号	平成23年度香取市一般会計補正予算(第5号)	原案可決◎
議案第2号	平成23年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決◎
議案第3号	平成23年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決◎
議案第4号	工事請負契約の締結について ((仮称)香取市小見川市民センター建設工事)	原案可決◎

議案番号	件名	結果
議案第5号	工事請負契約の締結について ((仮称)香取市学校給食センター建築工事)	原案可決◎
議案第6号	工事請負契約の締結について ((仮称)香取市学校給食センター電気設備工事)	原案可決◎
議案第7号	工事請負契約の締結について ((仮称)香取市学校給食センター機械設備工事)	原案可決◎
議案第8号	受託契約の変更契約の締結について (農地及び農業用施設災害復旧事業 香北地区)	原案可決◎

※議決結果：◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数 議案は、常任委員会に付託されず、採決されました。

# 3月定例会 上程議案等議決結果

(開催日 平成24年2月27日～3月22日)

議案番号	件名	結果
議案第1号(予算審査)	平成24年度香取市一般会計予算	原案可決○
議案第2号(予算審査)	平成24年度香取市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決○
議案第3号(予算審査)	平成24年度香取市介護保険事業特別会計予算	原案可決○
議案第4号(予算審査)	平成24年度香取市訪問看護事業特別会計予算	原案可決○
議案第5号(予算審査)	平成24年度香取市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決○
議案第6号(予算審査)	平成24年度香取市観光事業特別会計予算	原案可決○
議案第7号(予算審査)	平成24年度香取市下水道事業特別会計予算	原案可決○
議案第8号(予算審査)	平成24年度香取市土地取得事業特別会計予算	原案可決○
議案第9号(予算審査)	平成24年度香取市火葬場事業特別会計予算	原案可決○
議案第10号(予算審査)	平成24年度香取市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決○
議案第11号(予算審査)	平成24年度香取市水道事業会計予算	原案可決○
議案第12号(予算審査)	平成24年度香取市簡易水道事業会計予算	原案可決○
議案第13号	平成23年度香取市一般会計補正予算(第6号)	原案可決◎
議案第14号	平成23年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決◎
議案第15号	平成23年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決◎
議案第16号	平成23年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決◎
議案第17号	平成23年度香取市観光事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決◎
議案第18号	平成23年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第6号)	原案可決◎
議案第19号	平成23年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決◎
議案第20号	平成23年度香取市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決◎
議案第21号	平成23年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決◎
議案第22号	香取市災害復興基金条例の制定について	原案可決◎
議案第23号	香取市東日本大震災復興交付金基金条例の制定について	原案可決◎
議案第24号(総務企画)	香取市暴力団排除条例の制定について	原案可決◎
議案第25号(総務企画)	香取市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決○
議案第26号(総務企画)	香取市情報公開条例及び香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第27号(総務企画)	香取市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第28号(総務企画)	香取市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第29号(総務企画)	香取市財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎

議案番号	件名	結果
議案第30号(福祉教育)	香取市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第31号(福祉教育)	伊能忠敬記念館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第32号(福祉教育)	香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第33号(福祉教育)	香取市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決○
議案第34号(総務企画)	香取市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第35号(経済建設)	香取市山田農業構造改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第36号(経済建設)	香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第37号(経済建設)	香取市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
議案第38号(福祉教育)	香取市民プールの設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決◎
議案第39号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決◎
議案第40号(総務企画)	香取広域市町村圏事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更並びに香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決◎
議案第41号(総務企画)	香取広域市町村圏事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分に関する協議について	原案可決◎
議案第42号(経済建設)	佐原町並み交流館及び佐原三菱館の指定管理者の指定について	原案可決◎
議案第43号(経済建設)	市道路線の認定及び廃止について	原案可決◎
議案第44号(総務企画)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第22号 損害賠償の額を定めることについて)	原案承認◎
議案第45号	香取市水防協議会条例の一部を改正する制定について	原案可決◎
議案第46号	財産の取得について((仮称)香取市学校給食センター調理機器購入)	原案可決◎
議案第47号	監査委員の選任につき同意を求めることについて(香取市佐原イ 田山一夫 氏)	原案同意◎
議案第48号	監査委員の選任につき同意を求めることについて(佐倉市鍋木町 小高正之 氏)	原案同意◎
議案第49号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて(香取市小見川 宮崎 毅 氏)	原案同意◎
議案第50号	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて(香取市小見川 野中達治 氏)	原案同意◎
報告第1号	専決処分の報告について(専決処分第23号 損害賠償の額を定めることについて)	
報告第2号	専決処分の報告について(専決処分第24号 損害賠償の額を定めることについて)	
発議案第1号	利根川の管理を国の責任で行うことを求める意見書について	原案可決○
発議案第2号	香取市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決◎
発議案第3号	議会改革検討特別委員会の設置について	原案可決◎
陳情第9号(総務企画)	保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情	不採択△
陳情第10号(経済建設)	利根川の管理を国の責任で行うことを求める陳情	採択○

※議案番号下の( )は、付託委員会名です。議決結果：◎全員賛成 ○賛成多数 △賛成少数

**市議会を傍聴してみませんか**

次回定例会は  
**6月11日(月)から**  
開催予定です

詳細は、議会事務局まで

**TEL 50-1217**

今年も桜が元気に開花しました

## 市議会会議録の閲覧について

- ◆インターネット  
香取市のホームページ、市議会の「会議録検索」をクリックしますと定例会・臨時会の会議録などが閲覧できます。  
※平成24年3月定例会の会議録がご覧いただけるのは、5月中旬頃になります。
- ☆香取市のHP  
<http://www.city.katori.lg.jp/> から市議会のページを選択してください。
- ☆香取市議会HP  
<http://www.city.katori.lg.jp/gikai/> からご希望のアイコンを選択してください。
- ◆その他  
市役所(本庁)1階の情報コーナー及び6階の議会事務局、佐原中央図書館・小見川図書館で閲覧することができます。